

# 帯広市障害者虐待に関する事業報告

## (1) 令和6年度における事業報告

### ① 障害者虐待防止に関する啓発

帯広市地域自立支援協議会「定例会」

- ・日 程 令和6年12月19日(木)
- ・出席者数 145名
- ・実施内容 障害者虐待に関する基本的なことを学び、虐待件数などの現状や、事業所における虐待防止の取り組みについて研修を実施。
- ・講義内容
  1. 障害者虐待防止法の概要
  2. 障害者虐待の状況
  3. 虐待への対応
  4. 虐待と犯罪
  5. 事業所における虐待防止の取り組み

### ② 帯広市地域自立支援協議会「権利擁護部会」

- ・日 程 令和6年7月30日(火)
- ・開催目的 市における関係機関、民間団体等との連携協力体制の整備
- ・議事内容 権利擁護部会創設の経緯や会議の趣旨  
令和5年度帯広市における障害者虐待の状況  
講演「発達障害のある人への合理的配慮～差別や体罰を無くす為に出来ること～」  
発達サポートHope 代表 八嶋 利永子 氏
- ・主な内容 ○発達障害が神経発達症というような言い方になってきた。自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)、限局性学習症(SLD)の大まかに3つある。  
○合理的配慮は、障害のある人が社会の中で出会う困り事に対して、調整や変更を行うこと。環境を調整する、作業量を調整する、バー型の拡大鏡であるカラーバーを使うなど道具を工夫することも有効である。  
○子ども達が安心安全に地域の中で当たり前のように育っていて、就労の場や学校でも合理的配慮が当たり前に行われる、そのような地域をみなさんと一緒に作っていただけたいと願っている。  
…など。  
質疑応答・情報交換

## (2) 令和6年度帯広市における障害者虐待の状況

### 1) 全体概要

#### ①令和6年度 通報等件数及び虐待を受けたと判断した件数

- ・通報件数については、養護者からの虐待が最も多く、全体の7割以上を占めている。
- ・認定件数についても養護者からの虐待が多く、類型では身体的虐待が多い。

区分	通報等件数	虐待を受けたと判断した件数					
		類型内訳（重複あり）					計
		身体的	性的	心理的	ネグレクト	経済的	
養護者	27	7	7	0	0	0	0
施設従事者等	7	2	1	0	1	0	0
使用者	1	1	0	0	0	0	1
その他	1	1	1	0	1	0	0
計	36	11	9	0	2	0	1

養護者 … 家族、親族、同居人等

施設従事者 … 障害福祉サービス事業、相談支援事業、移動支援事業、地域活動支援センター等に  
従事する者

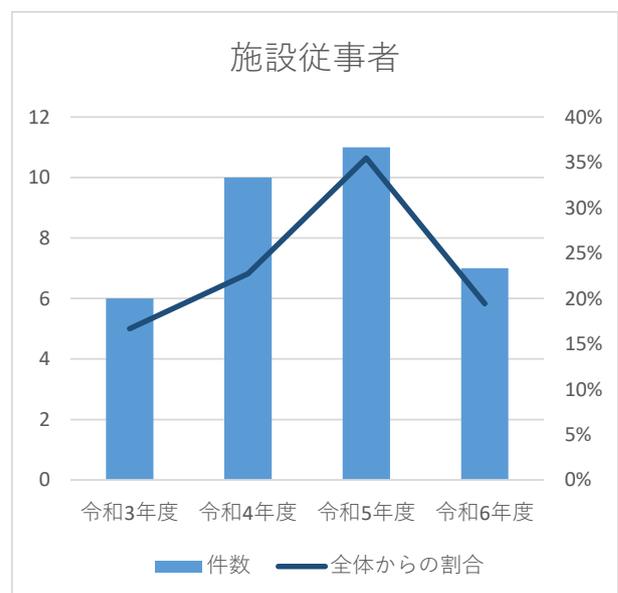
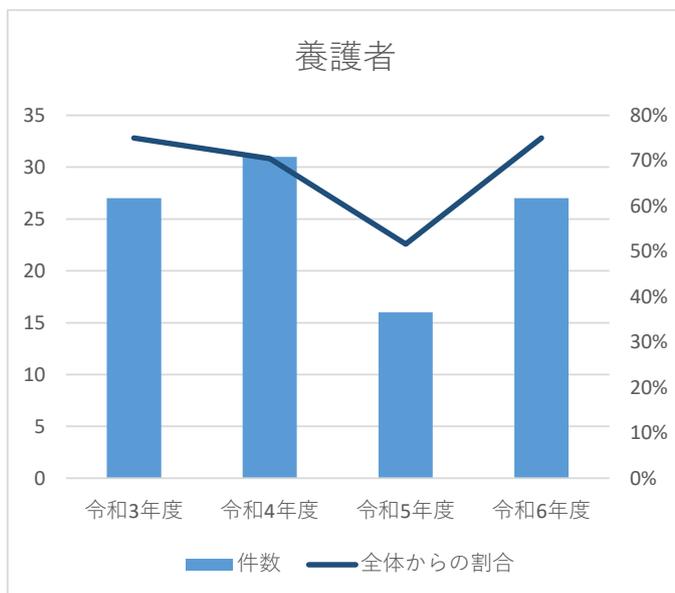
使用者 … 障害者を雇用する事業主又は事業の経営担当者、その他その事業の労働者に関する  
事項について事業主のために行為をする者

その他 … 上記以外の者(関係機関へ引き継ぎ、必要に応じて市町村にて対応を行う)

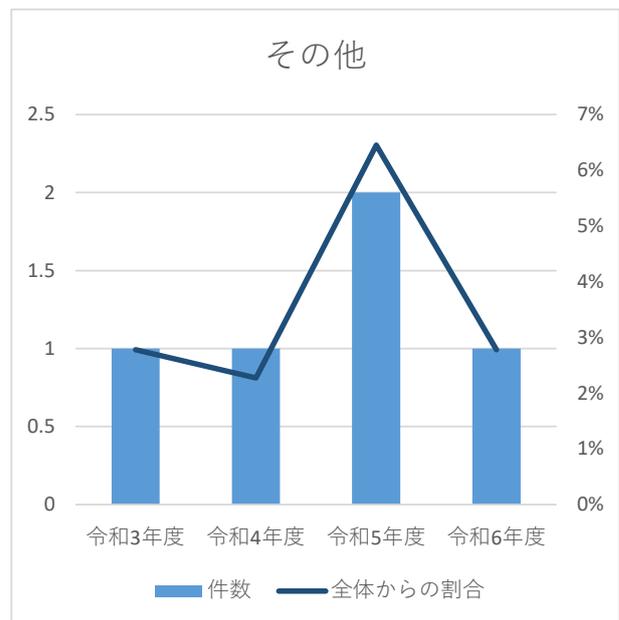
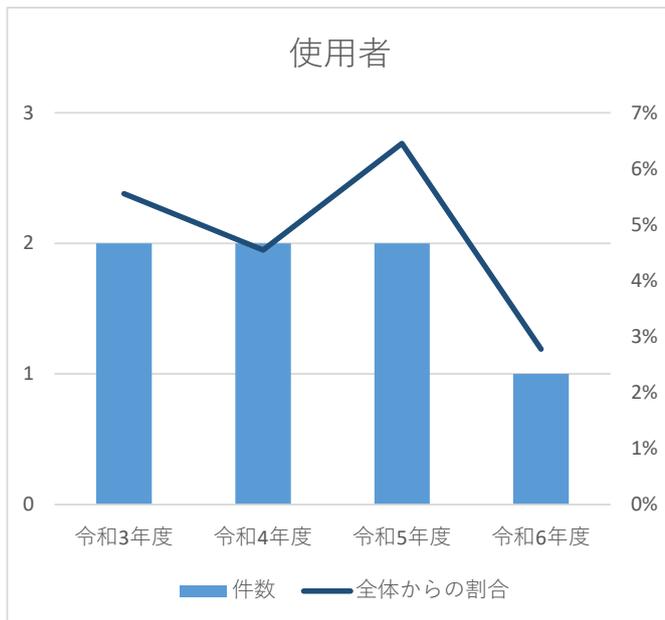
#### ②年度別 通報等件数の推移

- ・通報件数については、令和5年度は31件と減少しているものの、近年は40件前後で推移している。
- ・いずれの年度においても養護者に係る通報が最も多く、大半の年度で7割以上を占めている。
- ・施設従事者に係る通報が増加傾向だったものの、令和6年度は減少した。

年度	計	養護者	施設従事者	使用者	その他	虐待を受けたと判断した件数
令和3年度	36	27	6	2	1	4
令和4年度	44	31	10	2	1	10
令和5年度	31	16	11	2	2	5
令和6年度	36	27	7	1	1	11



「使用者」、「その他」は次頁



### ③通報等の対応区分

区分	一時保護・分離	相談・助言	関係者へ対応を依頼	特になし (必要時に対応)	その他		計
					うち関係者と共有	その他	
養護者	3	2	3	19	(17)	0	27
施設従事者等	2	0	5	0	(0)	0	7
使用者	0	0	1	0	(0)	0	1
その他	0	0	1	0	(0)	0	1
計	5	2	10	19	(17)	0	36

### ④虐待を受けたと判断した事例の被虐待者の障害種別

- ・虐待認定ケース1件につき、被虐待者が複数人あるいは複数の障害種別に該当する場合、それぞれの障害種別に1カウントしている。
- ・養護者による虐待認定ケースの大半が精神障害を含む事例となっている。

区分	虐待認定件数	障害種別			
		身体障害	知的障害	精神障害	その他・不明
養護者	7	0	2	6	0
施設従事者等	2	1	1	0	0
使用者	1	0	0	1	0
その他	1	0	1	0	0
計	11	1	4	7	0

## 2) 区分ごとの状況（養護者による障害者虐待）

身近の世話や身体介助、金銭の管理などを行っている障害者の家族、親族、同居人等が該当します。虐待の通報を受けた場合や虐待を発見した場合は、市町村において事実確認や立入調査等を行い、必要に応じて一時保護等の措置を講じます。

### ①年度別 通報等件数及び虐待を受けたと判断した件数の全国・全道との比較

- ・全国・全道いずれも、通報件数及び虐待件数は増加傾向である。
- ・令和6年度における帯広市の通報件数は27件で、前年度と比較すると11件増加している。また、前年度は養護者による虐待の認定事例が無かったが、令和6年度は7件の認定事例があった。

年度	通報等件数			うち虐待件数		
	全国*	全道*	帯広	全国*	全道*	帯広
令和3年度	7,337	422	27	1,994	46	3
令和4年度	8,650	446	31	2,123	31	5
令和5年度	9,972	577	16	2,283	52	0
令和6年度	11,656	681	27	2,503	68	7

\* 全国：厚生労働省発表資料、全道：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課発表資料

### ②通報者の状況

- ・令和6年度の養護者に係る虐待通報は全て警察からの通報であった。

通報者等	件数	割合
本人	0	0.0%
家族・親戚	0	0.0%
近隣住民・民生委員	0	0.0%
医療関係者	0	0.0%
教職員	0	0.0%
相談支援専門員・施設職員	0	0.0%
警察	27	100.0%
市町村	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	27	100%

### ③事実確認の実施状況

	件数	割合
事実確認調査を行った事例	7	25.9%
立入調査(法第11条)以外の方法により事実確認調査を行った事例	7	25.9%
訪問調査により事実確認を行った事例	0	0.0%
訪問調査を行わずに関係者からの情報収集のみで事実確認調査を行った事例	7	25.9%
法第11条に基づく方法により事実確認調査を行った事例	0	0.0%
(立入調査のうち)警察が同行した事例	0	0.0%
(立入調査のうち)市独自で実施した事例	0	0.0%
事実確認調査を行っていない事例	20	74.1%
相談・通報・届出を受理した段階で、明らかに虐待ではなく事実確認調査不要と判断した事例	20	74.1%
相談・通報・届出を受理、後日、事実確認調査を予定している又は事実確認調査の要否を検討中の事例(確認中を含む)	0	0.0%
他部署等に引継ぎ	0	0.0%
計	27	100%

④事実確認調査の結果

	件数	割合
虐待を受けた又は受けたと思われた事例	7	100.0%
虐待ではないと判断した事例	0	0.0%
虐待の判断に至らなかった事例	0	0.0%
計	7	100.0%

⑤虐待が認められた事例の分離等の有無

分離を行った事例	分離していない事例	検討中・調整中・その他	合計
3	4	0	7

⑥虐待が認められた事例内容

No.	通報者	被虐待者		虐待者	類型	事案の概要	【対応区分】 対応状況
		性別	障害種別				
1							
2							
3							
4						個人情報のため非公開としています。	
5							
6							
7							

### 3) 区分ごとの状況（障害者福祉施設従事者等による障害者虐待）

障害者総合支援法等に規定する障害者福祉施設又は障害福祉サービス事業等に係る業務に従事する者とされ、障害者福祉施設従事者等による虐待として、障害福祉サービス事業、相談支援事業、移動支援事業、地域活動支援センター等に従事する者が該当します。  
虐待の通報を受けた場合や虐待を発見した場合は、市町村において事実確認を行ったのち、事業所の指定権者である都道府県に報告し、必要に応じて監督権限等の適切な行使や、措置等の公表などを行います。

#### ①年度別 通報等件数及び虐待を受けたと判断した件数の全国・全道との比較

- ・全国では、通報件数及び虐待件数ともに増加傾向である。
- ・全道では、通報件数は増加傾向であり、虐待件数は近年は横ばいである。

年度	通報等件数			うち虐待件数		
	全国*	全道*	帯広	全国*	全道*	帯広
令和3年度	3,208	136	6	699	22	0
令和4年度	4,104	177	10	956	40	4
令和5年度	5,618	203	11	1,449	39	5
令和6年度	5,870	192	7	1,467	43	2

\* 全国:厚生労働省発表資料、全道:北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課発表資料

#### ②通報者の状況

- ・匿名者からの通報が3件と最も多くなっている。当該施設職員等からの通報は無し。

通報者等	件数	割合	通報者等	件数	割合
本人	1	9.1%	当該施設・事業所利用者	0	0.0%
家族・親戚	1	9.1%	当該施設・事業所実習生	0	0.0%
近隣住民・民生委員	0	0.0%	市町村職員	1	9.1%
医療従事者	0	0.0%	警察	0	0.0%
教職員	0	9.1%	運営適正化委員会	0	0.0%
相談支援専門員	0	0.0%	居宅サービス事業所等従事者	0	0.0%
他の施設・事業所職員	0	9.1%	成年後見人等	0	0.0%
当該施設・事業所職員	0	9.1%	その他(児相)	1	0.0%
当該施設・事業所元職員	0	18.2%	不明(匿名)	3	0.0%
当該施設・事業所設置者	0	27.2%	計	7	100%

#### ③事実確認の実施状況

	件数	割合
事実確認調査を行った事例	5	71.4%
虐待の事実が認められた事例	1	14.3%
虐待の事実が認められなかった事例	0	0.0%
虐待の判断に至らなかった事例	4	57.1%
事実確認調査を行っていない事例	2	28.6%
相談・通報・届出を受理した段階で、明らかに虐待の事実が認められ確認調査不要とした事例	0	0.0%
他市町村へ事実確認調査を依頼	1	14.3%
その他(他自治体で調査が終了し、援護自治体として報告を受けたもの。)	1	14.3%
計	7	100%

#### ④虐待が認められた事例の分離等の有無

分離を行った事例	分離していない事例	検討中・調整中・その他	合計
2	0	0	2

⑤虐待が認められた事例内容

No.	通報者	被虐待者		虐待者	類型	事案の概要	【対応区分】 対応状況
		性別	障害 種別				
1							
2							

個人情報のため非公開としています。

4) 区分ごとの状況（使用者による障害者虐待）

障害者を雇用する事業主又は事業の経営担当者、その他その事業の労働者に関する事項について事業主のために行為をする者が該当します。  
 虐待の通報を受けた場合や虐待を発見した場合は、通報等を受けた市町村や都道府県において事実確認を行ったのち、事業所所在地の労働局に報告し、必要に応じて監督権限等の適切な行使や、措置等の公表などを行います。

①年度別 通報等件数及び虐待を受けたと判断した件数の全国・全道との比較

- ・全国における通報件数は増加傾向にあり、令和6年度は令和5年度と同程度の通報等件数となっている。
- ・全道における通報件数も年々増加しており、近年だと令和6年度が最も多くなっている。
- ・帯広市においては1～2件／年ほどの通報件数となっている。

年度	通報等件数			うち虐待件数		
	全国*	全道*	帯広	全国*	全道*	帯広
令和3年度	529	18	2	392	29	1
令和4年度	538	26	2	430	24	1
令和5年度	675	49	2	447	38	0
令和6年度	658	66	1	434	35	1

\* 全国: 厚生労働省発表資料、全道: 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課発表資料

\* 令和3年度の北海道の通報等件数は18件、虐待件数29件となっており、件数が逆転している。通報等件数は北海道や市町村が受理したものであり、認定件数は、北海道労働局から確認したのも含まれているため、このような数値になっていると考えられる。

②相談通報の受付状況

- ・令和6年度の1件は、労働局にて対応が行われ、北海道を通じて帯広市に報告があったもの。

	件数	割合
帯広市で受け付けた相談・通報・届出受理件数	0	0.0%
北海道で受け付け、帯広市に連絡された事例	1	100.0%
計	1	100%

③虐待への対応、虐待が認められた事例内容

No.	通報者	被虐待者		虐待者	類型	事案の概要	【対応区分】 対応状況
		性別	障害 種別				
1						個人情報のため非公開としています。	

5) 区分ごとの状況（その他、障害者虐待防止法の通報義務に該当しない障害者虐待）

障害者虐待防止法では、養護者、障害者福祉施設従事者等、使用者による障害者虐待に通報義務が定められているが、法第3条に定める「何人も障害者を虐待してはならない」の主旨を鑑み、それ以外の者から行われた障害者に対する虐待を発見した人からの虐待通報があった場合は、事案に対応すべき機関に連絡し、確実に引き継ぐまたは必要に応じて市町村が対応することとされています。

①年度別 通報等件数及び虐待を受けたと判断した件数の推移

- ・全国における通報件数は、増加傾向であったが、令和6年度は特に増加している。
- ・帯広市においては近年認定事例は無かったが、令和6年度は日中一時支援事業所において虐待の認定事例があった。

年度	通報等件数			
	全国*	全道*	帯広	うち虐待件数
令和3年度	382	6	1	0
令和4年度	436	6	1	0
令和5年度	615	42	2	0
令和6年度	1,200	今後公表予定	1	1

\* 全国:厚生労働省発表資料、全道:北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課発表資料

②相談内容に該当する機関

該当機関等	件数
保健所等	0
学校	0
医療機関	0
官公署	0
その他	1
不明	0
計	1

③相談・虐待への対応

No.	通報者	被虐待者		虐待者	類型	事案の概要	【対応区分】対応状況
		性別	障害種別				
1							個人情報のため非公開としています。